8/30　週報巻頭言

「十字架の黙想」

出エジプト記第12章に関連してイエス・キリストの十字架のことを黙想いたします。

旧約には犠牲をささげるための「小羊」のことが出てきます。

旧約聖書の世界では、いろんな動物を焼いて奉げていたのです。我が国では古代において、どのような犠牲を捧げていたのか定まった規定集がありません。しかし、植物であれ、動物であれ何かをささげていたことに違いはありません。

願い事をするには、「手ぶら」でお願いはできません。人間の心の底にはこのように「犠牲」なしに願いは聞き入れていただけないという心理が働いています。旧約聖書、新約聖書の根底に流れている「ささげもの」の究極にイエス・キリストの十字架があります。わたしたちの礼拝はいつもこの一点に集中しているのです。

（山下誠也）